

平成29年度教育研究活動報告書

氏名	高間 沙織	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（社会学）	職位	講師
専門分野	社会保障・社会政策		
I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	社会政策 社会保障 社会保障入門 基礎演習Ⅰ 専門演習Ⅰ		
大学院	社会保障特論		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
〈著書〉 〈展覧会〉 〈論文〉 〈翻訳〉 〈学会発表〉 〈学術表彰〉 〈その他〉			
(1) 〈著書〉 高間沙織「戦後日本における病院の福祉施設の利用」『（仮）ヘルスケア政策はどうあるべきか』 勁草書房、掲載頁未定、2018年出版・掲載決定			
(2) 〈論文〉 高間沙織「地域連携における医師会自治の機能 尾道市医師会方式を事例として」『地域ケアリング』第20巻第3号、pp.98-102、2018年3月、依頼あり			
(3) 〈書評〉 高間沙織「書評 しかし、誰が、どのように分配してきたのか 同和政策・地域有力者・都市大阪」『保健医療社会学論集』第28巻、pp.89-90、2018年、依頼あり			
(4) 〈著書〉 高間沙織「戦後日本における病床供給の構造」『明日へ翔ぶ—人文社会学への新視点—4』2017年3月19日初版発行、pp.241-264			
(5) 〈学会発表〉 Saori Takama, "Role of Medical Practitioners in Integrated Community Care Systems: Onomichi Case Study", UK-Japan Seminar on the Politics and Practices of "Low Fertility and Ageing Population" in Post-War Japan, University of Manchester, November 2016			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈著書〉 〈展覧会〉 〈論文〉 〈翻訳〉 〈学会発表〉 〈学術表彰〉 〈その他〉			
(1) 〈著書〉 高間沙織「戦後日本における病院の福祉施設の利用」『（仮）ヘルスケア政策はどうあるべきか』 勁草書房、掲載頁未定、2018年出版・掲載決定			
(2) 〈論文〉 高間沙織「地域連携における医師会自治の機能 尾道市医師会方式を事例として」『地域ケアリング』第20巻第3号、pp.98-102、2018年3月、依頼あり			
(3) 〈書評〉 高間沙織「書評 しかし、誰が、どのように分配してきたのか 同和政策・地域有力者・都市大阪」『保健医療社会学論集』第28巻、pp.89-90、2018年、依頼あり			
(4) 〈著書〉 高間沙織「戦後日本における病床供給の構造」『明日へ翔ぶ—人文社会学への新視点—4』2017年3月19日初版発行、pp.241-264			
(5) 〈学会発表〉 Saori Takama, "Role of Medical Practitioners in Integrated Community Care Systems: Onomichi Case Study", UK-Japan Seminar on the Politics and Practices of "Low Fertility and Ageing Population" in Post-War Japan, University of Manchester, November 2016			
現在の研究テーマ（3つまで）			
(1) 戦後日本における病院の福祉施設の利用の構造に関する研究			
(2) 地域包括ケアにおける医師会自治の機能			
(3) 戦後日本のかかりつけ医に関する研究			
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
社会政策学会、日本保健医療社会学会、関東社会学会			
IV 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）			
(1) 公開講座・講演の実施			
(2) 住民と学生の交流の仲介			
(3) 市の障害者保健福祉計画策定委員会・委員			
2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称		
(1) 尾道市関係	尾道市障害者保健福祉計画策定委員		